

立川市立第六小学校 学校だより



ひまわり



立川市立第六小学校

〒190-0021

東京都立川市羽衣町2-29-22

TEL 042(523)5248

FAX 042(529)0859

校長 田中 光 晴

令和7年

7月号



直接体験の教育的意義について

校長 田中光晴

5月14日(水)～16日(金)の期間、6年生は日光移動教室へ、6月11日(水)～13日(金)の期間、5年生はハケ岳自然教室に行ってきました。この二つの宿泊行事は、教育課程における特別活動という領域の学校行事(遠足・集団宿泊的行事)として位置づけられているものです。そしてこれらの行事は、「自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」



5年ハケ岳・美し森ハイキング

(「小学校学習指導要領・特別活動編」より)とされており、そのねらいを達成すべく活動内容が計画されています。私は、それぞれの宿泊行事に引率者として同行しましたが、どちらの学年の子供たちも、五感をフル稼働させながら、様々な学びを深めていました。また、3日間四六時中仲間と行動を共にするという生活環境の違いから、普段では見せない、見られない互いの姿を受け止め合い、理解し合い、信頼を深め合う姿も多く目にしました。そして、子供たちが日に日に生活環境に適應し、望ましい集団行動がとれるようになってきたことは、本校の高学年生として大変頼もしい姿でした。本年度の宿泊行事においても、ハケ岳や日光という立川とは異なった環境の中で、非日常的な感覚を味わう様々な直接体験をとおして、実感の伴った学びとともに、学年の絆を深めることができた貴重な3日間を過ごすことができました。

学校では、生活科や社会科、立川市民科、総合的な学習の時間における身近な自然や社会を対象とした学習や、理科の実験・観察・栽培・飼育学習、算数科の計器を用いた様々な数量の測定の他、学びの場を学校外に移した各種見学や校外学習等、各教科・領域の特質やねらいに応じた体験を伴う学習活動の充実を図っています。多様な感覚器官を介した体験的な学習は、子供たちの学びを豊かなものにします。子供たちが持てる限りの認知機能を駆使し、既得の知識や考え方、様々な経験等と結び付けながら、新たな学びに挑んでいく過程において、思考力・判断力・表現力はより一層高められ、深い学びに繋がっていくものと考えます。特に学校外における体験的な学習活動やゲスト・ティーチャーとの学習においては、非日常的な社会事象・事物や人との関わりという直接体験によるインパクトから、既習事項の更なる定着とともに、新たな気付きや疑問へと学びが深化、発展していきます。そこで得た知識は、既存の学力と繋がり定着し、活用可能な知恵となって子供たちの実生活に生きて働くものとなるはずで、また体験内容によっては、子供たちの道徳性や社会性の醸成も期待できます。

さて、夏休みまで残り3週間余り。学校では、第1学期の学習と生活のまとめの時期に入ります。長い夏休み期間中は、子供たちの学習や生活の主たる場が、ご家庭や地域に代わります。ぜひ、ご家庭や地域の教育力を活用いただき、長期休業期間ならではの間接体験でもなく疑似体験でもない、直接体験による学びを経験させてください。感性豊かなこの時期の子供たちにとって、様々な感覚への刺激と、そこから沸き起こる様々な感情の経験が、生涯忘れ得ぬ思い出とともに、「生きる力」の礎となってくれることを願っています。